



青梅市図書館



分館だより

NO. 198 (令和8年2月)



ウグイスー春を告げる鳥ー

冷たい風の中にかすかに柔らかな日差しが混じるころ、山間から「ホーホケキョ」という声が響きます。長かった冬が終わり、春が始まったことを誰もが感じる、『ウグイス』のさえずりです。ウグイスは、古くから「春を告げる鳥」として日本人に親しまれてきました。

今から 1200 年以上前、『万葉集』ではすでにウグイスは「春のはじまりの鳥」として認識されていました。その後『古今和歌集』にも、ウグイスを詠んだ歌が数多く見られます。冬の沈黙を破って最初に声を響かせるウグイスは、「春の到来」や「命の再生」を象徴する存在として人々に喜ばれていたことがわかります。特に『古今和歌集』の第一巻では、ウグイスは単に「鳴く鳥」ではなく「季節を動かす存在」として描かれています。姿はめったに見せないのに、声だけで季節の訪れを告げる・・・そんな奥ゆかしさが、古くから日本人の心をとらえてきたのでしょう。

ウグイスは鮮やかな黄緑色として想像されるような色ではなく、実際は地味な緑色の鳥です。私たちが想像する黄緑色の鳥はメジロであり、ウグイスとよく勘違いされています。控え目な姿に反して驚くほど美しい鳴き声は、花の咲く景色を一層引き立ててくれます。

『うぐひすの 谷よりいづる こゑなくは はるくることを たれかしらまし』

大江千里ー古今和歌集よりー

今年ももうすぐ、山間からウグイスが春の訪れを知らせてくれそうです。



【参考文献】

- Y488 マ 「鳥はなぜ鳴く？ホーホケキョの科学」 松田道生 (理論社) 中央
- 449.3 ク 「暮らしをもっと豊かにする七十二候の楽しみ」 小泉さよ(世界文化社) 長淵・中央
- キイ 814 イ 「いきもの 日本のことばずかん」 神永暁 (講談社) 中央
- 911.1 ス 「『古今和歌集』の創造力」 鈴木宏子(NHK 出版) 中央



凡例：分類「書名」著作者名（出版社）主な所蔵館

「ウグイス」に関する本

- キイ 488 オ 「鳥のくらし図鑑」 おおたぐろまり (偕成社) 中央
- 知 488 ミ 「みんなが知りたい！日本の野鳥」 (メイツユニバーサルコンテンツ)
青梅・梅郷・成木・新町
- 知 488 セ 「せかいの国鳥につぼんの県鳥」 (カンゼン) 青梅・長淵・小曾木
- アオ 913 メ 「名作古典にてでくるとりの不思議なむかしばなし」 福井栄一 (汐文社) 小曾木

春の始まりにおすすめの本

一般書編

児童書・絵本編

「やがて訪れる春のために」

はらだみずき/作 新潮社

入院した祖母の家の庭の手入れを始めた主人公が、庭とともに再生していくお話。やがて訪れる春に花を咲かせるために、長く寒い冬にできることをする。花を咲かせるための今なのだ、気づかせてくれる一冊です。

一般 913.6 ハ

新町・中央/所蔵

「春を背負って」

笹本稜平/作 文藝春秋

春の開山から冬の閉山まで、山の四季が丁寧に描写されている本です。山小屋を営んでいた父が亡くなり、引き継ぐことになった主人公の決断と再生が、山の厳しい自然と穏やかな春の訪れに重ねて描かれています。

一般 913.6 サ

梅郷・中央/所蔵

「はるがきた」

マーガレット・フロイ・グレアム/絵 主婦の友社

すぐそこまで来ているはずなのになかなかこない春。待ちどおしいから、待たずに迎えてしまおう！人々は町に春を描くことにしました。灰色だった町が、だんだんと鮮やかに彩られていきます。そこに降った雨は、やがて本当の春を運んできます。

児童 E グ

大門/所蔵

「まゆとりゅう」

降矢なな/絵 福音館書店

やまんばかあさんとまゆの住む山に、春のお客様「りゅう」がやってきました。やまんばと一緒に春一番の雨を降らせるりゅうの親子。雨が雪を溶かし、空は春の色にかすんでいきます。もうすぐ春だとわくわくさせてくれる絵本です。

児童 E フ

青梅・新町・中央/所蔵

「早春賦」

山口恵以子/作 幻冬舎

明治から大正に移り行くころ、若くして伯爵家に嫁いだ菊乃が、嫁ぎ先と生家との異なる暮らしや価値観に戸惑いながらも、強く賢く生き抜く物語。葛藤を抱えながらも人の心や家を守るために自立し、時代の制約の中で誇りを失わず生きる女性の姿が描かれています。

一般 914.6 ナ

成木・中央/所蔵

「二十四節気の心地よい料理と暮らし」

榎本美沙/作 グラフィック社

二十四節気とは立春から始まる一年を太陽の動きに基づいて24の季節にわけたもの。立春からの季節の巡りを、旬の食材や料理、暮らしの知恵で綴る、暮らしのガイドです。日々の暮らしが豊かになるヒントがたくさん詰まっています。日々の食卓や生活に自然のリズムを取り入れたい人におすすめです。

一般 596 エ

成木/所蔵

「おねぼうさんはだあれ？」

あずみ虫/絵 学研プラス

文を書いた片山令子さんの遺作となった作品。うさぎのミミナちゃんは、ふゆごもりからなかなか起きてこないおともだちを「おねぼうさんはだあれ？」とくり返しながらか、やさしく起こしていきます。やがて目を覚ましたおともだちは、置かれていた花の他にも「いいにおい」がすることに気がついて……

児童 E ア

大門/所蔵

「ぼくはくまですよ」

フランク・タシュリン/作 大日本図書

冬眠から目覚めたくまは、まわりの様子がすっかり変わってしまったことに驚きます。自分はいくまだと言っているのに信じてくれない人間たちは、くまに次々と名前や役割を押し付けてきます。社会の理不尽さや「決めつけ」の怖さを静かに教えてくれるような一冊です。

児童 933 タ

沢井/所蔵

「春になったら苺を摘みに」

梨木香歩/作 新潮社

一般 914.6 ナ

今井/所蔵

「氷壁」

井上靖/作 新潮社

一般 913.6 イ

成木・中央/所蔵

「あ、はるだね」

エリン・E・ステッド/絵 講談社

児童 E ス

青梅・中央/所蔵

「はるのくさばなあそび」

佐野高太郎/作 ひさかたチャイルド

児童 470 サ

長淵・成木・小曾木・中央/所蔵

「山は輝いていた」

神長幹雄/作 新潮社

一般 B786.1 ヤ

小曾木/所蔵

「日本の美しい言葉辞典」

梅内美華子/作 ナツメ社

一般 814 ニ

青梅・大門・中央/所蔵

「はなをくんくん」

マーク・サイモント/絵 福音館書店

児童 E サ

青梅・長淵・沢井・小曾木・成木・中央/所蔵

「春の足音」

永田萌/絵 ポプラ社

児童 E ナ

青梅 小曾木/所蔵

お知らせ

図書館休館日 2月16日(月)17日(火)

おはなし会

おはなし会は入場無料・予約不要、直接会場へどうぞ

☆=協力：図書館ボランティア

☆青梅図書館 おはなし会&ミニ工作会

2月15日(日)

ミニ工作会 10時15分~10時45分

おはなし会 11時~11時40分

内容：幼児からの内容で、絵本の読み聞かせや、お話を語ります。

定員20名(先着順)

○梅郷図書館

「うめこの時間」

2月28日(土)

11時~11時20分

内容：0歳からのお子さんも楽しめる、手遊びや絵本の読み聞かせをします。

定員25名(先着順)

☆今井図書館 おはなし会&こうさく会

2月21日(土)

こうさく会 10時15分~10時45分

おはなし会 11時~11時40分

内容：幼児からの内容で、絵本の読み聞かせや、お話を語ります。

定員25名(先着順)

イベント

○小曾木図書館

2月18日(水)~3月31日(火)

おそき図書館ひなまつり

○青梅図書館

2月21日(土)~2月23日(月)

ねこの木製ピンチプレゼント

○梅郷図書館

2月5日、12日、19日、26日

(毎週木曜日)

午前10時30分~11時15分

折り紙サロン

春の花を降しましょう

○大門図書館

2月21日(土)~2月23日(月)

冬はスヤスヤお休み中

~寝ている動物を起こさないでね~

図書館ホームページアドレス：<https://www.library.ome.tokyo.jp/>

編集発行：青梅市中央図書館 〒198-0036 青梅市河辺町10-8-1 TEL0428-22-6543